

京都産業大学・京都商工会議所 包括的連携協定事業 京都産業大学附属高等学校で「日商簿記検定」を実施

京都産業大学は、京都商工会議所との包括連携協定に基づく教育連携事業として、京都産業大学附属高等学校において、同校生徒を対象とした「日商簿記検定」団体試験(3級)を実施します。

京都産業大学附属高等学校では、高校段階から会計・財務の基礎力を育成し、大学での学びや将来のキャリアにつながる力を早期に身につけることを重視しています。とりわけ、普通科で簿記を学んだ経験がない生徒が、経営学部への進学後に会計専門職を志し、団体受験制度を活用して簿記検定に挑戦できる環境づくりは、本取り組みの重要な特徴です。

高校段階で会計の基礎を習得し、大学や社会で活きる実践的な学びへとつなげる本取り組みを、ぜひ取材いただき、広く紹介いただきますようお願い申し上げます。

【本件のポイント】

- ・京都産業大学と京都商工会議所は、2024年の包括連携協定締結以降、人材育成に関する協働を進めており、2025年1月には全国で初めて大学の定期試験として日商簿記検定3級を導入し、461名が受験するなど、実践的な会計教育を大学段階でも展開してきました。
- ・京都商工会議所との包括連携協定にもとづき、地域の将来を担う会計人材を育成するために大学・附属高校・地域経済界が協働する具体的な成果です。
- ・公的資格の取得機会を附属高校で提供することで、生徒の専門的学びの充実と学校としての教育価値向上を図る取り組みです。

京都産業大学附属高等学校での「日商簿記検定」について

1. 試験日: 2026年2月26日(木)10:30~12:00
2. 会場: 京都産業大学附属高等学校(京都市下京区中堂寺命婦町1-10)
3. 申込者数: 17名
4. 受験級: 3級
5. 当日取材: 10:00までに京都産業大学附属中学校・高等学校「むすびわざ館4階ケイロンルーム4」にお越しください。

本件に関するお問い合わせ先

取材について: 京都産業大学 広報部

TEL: 075-705-1411